



## 伊丹特別支援学校進路担当

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

3学期は高等部3年生の移行支援連絡会や引き継ぎ実習、中学部3年生は高等部受検等来年度へつなげる大切な行事がまだ多く残っています。コロナウイルスやインフルエンザなどが流行する季節となります。体調に気をつけながらお過ごしください。

さて、進路だよりも今年度残すところあと2回となりました。最後の1回は今年度のまとめ号として発行させていただきます。今号では、『我が子が働く年齢になった時、どんなサービス、制度を活用することができるのか』という点について掲載します。

まず、**働く=卒業後**ということになります。放課後等デイサービスや児童発達支援などにはここには含まれません。『働く』種類の中には以下のようなものがあります。

### ○就労系

- ・一般就労、障害者雇用、特例子会社（3つの形態ともに在宅勤務を含みます）

### ○福祉系

- ・就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型、生活介護

### ○訓練系

- ・職業能力開発校、自立訓練（機能訓練、生活訓練）



## ★使えるサービス

就労系	○職場定着支援、ジョブコーチ、通勤や在勤時のヘルパー利用 福祉系のサービスも利用することはできます。
福祉系	○短期入所や共同生活援助、同行援助 等 ※ <b>就労系のサービスは使用できません。</b>
訓練系	○福祉系のサービスに準ずる



### ○就労系・・・自力通勤が大前提。

- ・自力通所は当たり前になります。ただし、行きたくても1人でなかなか行けなかったり、介助を必要としていたりするケースもあります。そんな時、伊丹市では重度の方向けに、**通勤時や在勤中のトイレ介助等における支援サービスを受ける制度**があります。そのサービスを利用しながら「働く」を実現できます。在宅勤務の選択が可能な企業に就労となっても同等のサービスを受けることができます。また、企業で働くとなると、ハローワークに登録を行ってから様々な手続きを進める必要があります。職場への定着を図るために、日頃の業務上での悩み事や困りごとなどを聞いてもらったり本人と職場との橋渡しのような役割を担ってもらったりできる**職場定着支援**も利用できます。そういうサービスを使用するために**就業・生活支援センター**や**地域生活支援センター**への登録も忘れてはいけません。



○福祉系・・・B型と生活介護は場所によっては送迎あり。A型は自力通所が大前提。

種別	就労継続支援 A 型	就労継続支援 B 型	生活介護
通所方法	自力通所	送迎有りの場所もある	基本的に送迎有り
利用形態	雇用保険有	雇用保険無	口頭でのやりとり後、契約書にサイン
利用方法	2種類の方法有。 ①ハローワークに登録後、紹介の上、当該施設にて面接や実習で採用 ②直接事業所とやりとりを行い、見学や実習を経てから利用可。	在学中に B 型アセスメントを受け、評価をもらうことができれば利用可。 希望事業所で実習を繰り返し受入可能指示が出た場合、卒業後より利用可。	実習を繰り返し、事業所に空き状況があれば利用可。
利用者からの徴収	事業所により施設利用料や運営費などで設定有。		
給料や工賃	最低賃金有の給料としての支払いで契約。	事業所独自の設定ではあるが、工賃有。	工賃を設定している事業所もある。

※その他に『就労移行支援事業所』も福祉系の通所施設として利用できます。継続的に通所というわけではなく、**期間が2年間**と決まっています。また、施設内で継続的に作業等を行うわけではなく、企業に出向いて作業を行ったり、面接の練習を行ったりと訓練の要素も含まれています。



### ○訓練系

・将来「働きたい」を叶えるため、必要なスキルは訓練を通して身に付けます。職業能力開発校では、身体障害部門で、『OA 事務科、インテリア CAD 科』があります。**期間は1年間**で、訓練校への入校はハローワークへの登録を行い、試験に合格したものが入校できます。入校後、1年間は平日8時間ほど訓練を受けることとなります。その間、**授業料は無料**ですが、テキスト代等は実費負担となります。また、訓練校では、委託訓練も実施されており、在宅勤務を希望する方は訓練校の委託訓練を経て入社となるケースもあります。ただし、職業訓練校への入校希望と同様、委託訓練を受ける際も、事前にハローワークでの登録が必要となります。

自立訓練は、伊丹市の『障害者デイサービスセンター』で機能訓練を行っており、『スクールきると』では生活訓練を行っています。機能訓練は身体的機能のリハビリを行うためのもので、リハビリを中心としたプログラムが組まれます。生活訓練は、日常生活に必要な力を身に付けるためのものとなります。通勤や買い物に必要な力、金銭感覚の構築、自分の身の回りのことを身に付ける、生活リズムを整えるなど、あらゆることに取り組んでいきます。



★卒業は思っているよりもすぐにやってきます。卒業前にバタバタと慌てて決めてしまうとミスマッチが起こります。そうならないようにするため、子どものことを考えながら、保護者の皆様が様々な事業所等の情報や制度の理解を行い、適切な対応ができるように進めていきましょう。